



No.6 / 2010年10月22日発行

# 只見町ブナセンターだより

ブナの紅葉は黄金色だぞや。みとれちまっぺやい

## 10月号

【ただみ・ブナと川のミュージアム特別展示】

## 只見の秋の実り展

会期：10月2日（土）～11月23日（祝）

会場：ただみ・ブナと川のミュージアム「2階ギャラリー」

入館料：高校生以上 300 円、小中学生 200 円、未就学児無料

開催中！  
ただいま



マイタケ



マツタケ



ナメコ



シシタケ(コウタケ)

只見町は、面積の9割以上が山地という特別なロケーションにあります。人々は山の恵みを得て、山と共に生きてきました。色めく秋は、キノコや木の実などの山の幸が、食卓を彩ります。そして、冬ごもりの準備をする動物たちのように、人々も食べ物を保存する知恵を育んできました。

今回の企画展では、只見の自然から集めたキノコや木の実を標本にして展示し、果実酒や乾物、薬草などの暮らしの知恵を紹介します。

町の人々の協力で1つ1つ集めたアットホームな企画展です。会期中に季節を迎えるマイタケやアケビなど、少しずつ展示品を増やしていきます。

こうした活動をとおして、昔の人々が連綿と受け継いできた「自然と上手に付き合う知恵や技術」を学び、只見町の大切な財産として保管していきます。

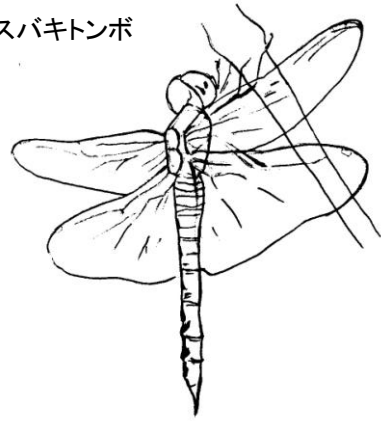
只見町ブナセンター指導員一同

海をわたるトンボ

# ウスバキトンボ

トンボ目トンボ科ウスバキトンボ属／薄羽黄蜻蛉

ウスバキトンボ



畑地や水田など開けた場所の上空 2~3m の高さを رفتり来たり飛翔するシオカラトンボほどの大きさのトンボが見られます。

それがウスバキトンボです。毎年成虫が南方から飛来し、只見では7月頃から10月中旬にかけて確認できます。ウスバキトンボは海をわたるトンボとも言われ、他のトンボと比べると、体のわりに翅が大きくいかにも長距離を飛翔しそうな体系をしています。

このトンボは幼虫期間が極めて短く、1ヶ月ほどで成虫になります。そのため、雨で一時的にできた水溜りでも、水が干上がらない限り、成虫になることが可能です。

しかし、寒さに対する適応力が低いため、只見の厳しい冬を乗り越えることができません。筆者は11月上旬に、道路脇にできた水溜りに、あと数日で成虫になりそうな多くのヤゴがお腹を上にして死んでいるのを目撃したことがあります。寒さで死んでしまうにもかかわらず、毎年飛来するウスバキトンボを、少しでも目にとめてはいかがでしょうか。

筆者●角田亘さん／1974年、只見町小林で生まれ育つ。横須賀市自然・人文博物館研究員を経て、現在は神奈川県で造園業に就く。只見町での昆虫採集をライフワークとし、現在2000種以上を採集。

## ■ブナを知ろう③ 今年、ブナの実が不作でした



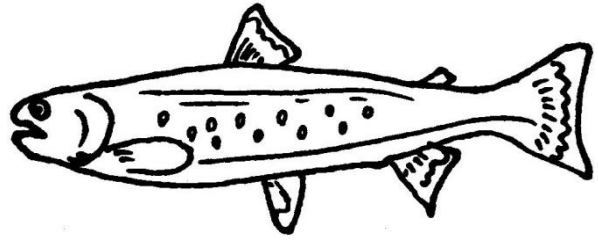
○殻斗(かくと)と呼ばれるイガの中に、三角錐の種が2つ入っています。

○ブナの実(種)はおいしいので、動物たちに人気があります。今年はほとんど実のならない不作の年でした。クマなどの動物たちはお腹をすかせて里に下りてきました。

○ブナの実は、たくさん実をつける豊作年と、実をつけない不作年とが不規則にあります。これは、ブナの実を食べる動物が増えすぎて、実が食べつくされないようにするブナの戦略だといわれています。

秋の溪流はドラマチック

## イワナの恋



イワナは10月下旬～12月にかけて産卵期を迎えます。メスは産卵が近付くと、沢をさかのぼっていき、卵を産みつけるのによい場所をみつけてオスを待ちます。たくさんのオスのなかから、メスのハートを射止めた1匹がペアになります。やがてプロポーズに応じてメスは産卵します。

この時期のイワナは、婚姻色といってからだの脇が黒っぽく変わります。釣り人のあいだでは「イワナが錆びた」などと言い、10月から3月まで禁漁期間になります。

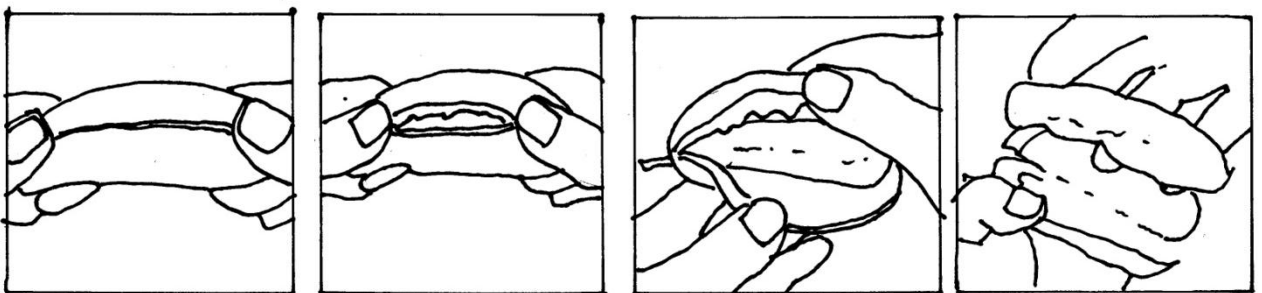
只見で秋に産卵する主な魚は、イワナ、ヤマメ、サクラマスなどです。また春に産卵するのは、カジカ、ハヤ、ワカサギ、コイ、フナなどです。

# アケビ

木通、通草／植物／キンポウゲ目アケビ科

昔から山遊びをする子どものおやつとして親しまれてきた甘い果実です。写真のようにまだ青い実を地元では「イシアケビ」と呼びます。あと1週間ほどして紫色に熟すと食べごろです。イシアケビを自宅に置いておいて、熟してから食べることを「オキウマシ」と呼びます。オキ（置く）ウマシ（熟む）という意味です。

## アケビの開け方



①スジのある方を上にもつ ②親指で両端から押す ③スジがパカッと開く ④中の甘い実を食べる

# キノコと森について語ろう

講師：瀬畑雄三さん



【机上講座】

日時：10月23日（土）午後3時～午後4時  
会場：ただみ・ブナと川のミュージアムセミナー室  
費用：入館料

長年、只見町に通い続けるテンカラ釣り名人の瀬畑さんは、キノコに詳しく『名人が教えるきのこの採り方・食べ方』（家の光協会刊）を監修しています。

只見町の人があまり食べない雑キノコの種類や料理法をたくさん知っているの、今回は地元の人を対象にいろんなキノコのお話をします。

## 瀬畑さんと 雑キノコ採り！

午後0時30分～午後2時30分  
青少年旅行村の受付集合！  
入村料400円（町民200円）  
詳しくはブナセンターへ

【お知らせ】

## 只見町のブナ林とユネスコ・エコパーク可能性

講師：酒井暁子さん（横浜国立大学大学院准教授）

日時：10月31日（日）午後1時30分～午後3時30分  
会場：明和地区センター2階 ☎0241(86)2111 費用：無料  
主催：只見町  
問い合わせ：只見町ブナセンター事務局 ☎0241(72)8355



只見町ブナセンター

Tel 0241 (72) 8355 fax 0241 (72) 8356  
〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下  
2590番地「ただみ・ブナと川のミュージアム」内  
HP <http://www.tadami.gr.jp/kankou/buna/buna.htm>  
ブログ <http://tadamibuna.blog2.fc2.com/>  
E-mail [info-buna@amail.plala.or.jp](mailto:info-buna@amail.plala.or.jp)

